TATEYAMA SABO 100 120
立山砂防
直轄100年・県営120年

参加無料

立山砂防直轄100年・県営120年 記念フォーラム

世界へ誇る技術の粋、進化し続ける立山砂防

令和８年度に、常願寺川流域の砂防事業（立山砂防）は、富山県による県営事業の着手から120年、国による直轄事業の着手から100年の節目を迎えます。

富山平野の安全・安心な暮らしを守るため、立山砂防が果たしてきた役割を振り返りつつ、これからの立山砂防を考えるとともに、土砂災害の恐ろしさ、土砂災害への備えを再認識する機会となるように、フォーラムを開催します。

令和8年 11月21日（土）

開催場所 富山国際会議場

午後 /13：00 ～17：30（開場：12：00）

第１部 / 13：00～ 落　語

「砂防さん」【口演】柳家わさび

第２部 / 13：55～ 式　典

主催者挨拶、来賓挨拶および紹介

第２部 / 14：35～ 記念講演

1）基調講演「富山のすしはなぜ美味しい」
～大地変動の歴史と人々の営み～
（巽　好幸　ジオリブ研究所所長、神戸大学名誉教授）

2）立山砂防の歴史と現在
～これまでの歴史と現在の最新の取り組み～

3）次世代への継承 ～世界遺産登録に向けて～
（富山県世界遺産・ふるさと教育推進課）

企画展（同時開催）

- 立山砂防「パネル展示」
- 立山砂防「歴史年表展示」
- 360度映像で見る立山カルデラ 他
- 語り部絵本（読み聞かせ）「カモシカのカルデラ物語」 立山砂防女性サロンの会
- 土砂災害防止絵画展示（富山県）
- 世界遺産登録に向けて（取り組み紹介）

第２部 / 16：05～ パネルディスカッション

話題Ⅰ 富山の暮らしと産業を支えた砂防
～土砂とともに生きる流域の営み～

話題Ⅱ 進化し続ける水系一貫
～総合土砂管理と、未来の課題への挑戦～

話題Ⅲ 立山砂防が世界に問いかけるもの
～変動帯に生きる知恵の、世界的・普遍的価値～

コーディネーター
松本　浩司（北海道大学広域複合災害研究センター客員教授、元NHK解説主幹）

パネリスト
巽　　好幸（ジオリブ研究所所長、神戸大学名誉教授）
内田　太郎（筑波大学 生命環境系 教授）
二神　葉子（(独)国立文化財機構東京文化財研究所文化財情報資料部長）
久﨑みのり（富山県観光推進局次長・観光資源活用室長）
川上　孝裕（富山県土木部長）

コメンテーター
國友　　優（国土交通省砂防部長）

お問い合わせ先
立山砂防事務所／電話：076-482-1111（代表）
富山県砂防課／電話：076-444-3342

主　催／国土交通省立山砂防事務所、富山県
後　援／富山県治水砂防協会、神通川水系・常願寺川直轄河川改修促進期成同盟会、全国治水砂防協会立山支部（立山町・富山市・舟橋村）、(公財)立山カルデラ砂防博物館、立山砂防女性サロンの会、立山・神通砂防ボランティア協会、NPO法人 富山県砂防ボランティア協会、立山山麓防災・安全対策協議会

イベント情報はこちら
立山砂防100年 で検索

開催イベントに関する詳細情報は、特設サイトで確認できます。是非ご覧下さい。